

2019年度

劇団前進座 附属養成所

第33期生 募集要項

附属養成所 開所50年
第33期 **無料!**
入所金・授業料



●近年の修了公演の舞台より●

伝統に学び、現代に生かす
夢に向かってチャレンジ!!

お問合せ

TEL: 0422-49-2588

MAIL: youseijo@zensinza.com

前進座 附属養成所

2019年度 第33期生募集

募集要項

名称	前進座附属養成所	
応募条件	中学校卒業以上30歳以下の心身ともに健康な男女	
定員	20名	
養成期間	2019年4月から月・水・金の夜間1年 各日とも90分×2時限(18:00～19:30と19:45～21:15) ただし、修了公演前はこの限りにあらず	
試験料	1万円	
入所金	5万円	
授業料	前期・後期 各25万円(修了公演費含む)	
授業内容	演技基礎・日本舞踊・長唄・三味線・義太夫・鳴物・演劇概論・立廻り バレエ基礎・ボイストレーニング・舞台技術 他	
願書 受付	①2018年11月1日(木)～11月29日(木) <small>日前必着のこと</small> ②2019年 2月1日(金)～2月28日(木) ★期限内必着のこと	
試験日	①2018年12月2日(日) ②2019年 3月3日(日) ★いづれかを選択	
試験内容	筆記、実技、面接	
<p>俳優志望者は、若干名を研修生として1年間採用し、実際の舞台を含めた体験の中で俳優としての適性を審査した後、優秀者は前進座に入座することができます。スタッフ志望者は、試用期間として3ヵ月舞台の運営に参加しながら適性を審査し、優秀者は正式に前進座に入座することができます。</p>		



教務主任
河原崎國太郎

仲間とともに一つの作品を創っていく。なんの世界でも同じだと思いますが、個々の技術を結集して、全員が一つになってお芝居が完成していきます。しかしその道は険しく厳しいものです。それだけに新しい作品を生み出し、観客と一体になった時の感動は何ものにも代えることが出来ません。長い道のりですが、一生挑戦。やりがいのある世界です。
夢と意欲に満ち溢れた、皆様のチャレンジを歓迎します。ともに夢に向かって前進していきましょう！

2018年 体験入学

7月15日(日) 10時(予定)
10月21日(日) 10時(予定)

附属養成所とは

前進座は、1931年に若手歌舞伎俳優たちによって創立され、今年で37年の歴史を持つ劇団です。歌舞伎はもとより時代劇・歴史劇・現代劇・児童青少年演劇・映画・テレビと幅広い創作活動を行っております。

附属養成所は『あらゆるジャンルに適應できる俳優とスタッフの養成』を目指し、1970年に開設されました。以来、節目節目に募集を行ってきました。2019年度は第33期養成所生の募集を行います。授業時間は月・水・金の夜で、仕事や学校へ行きながらでも学ぶことができます。伝統演劇の基礎(日本舞踊・長唄・三味線・義太夫・鳴物)はもちろん、演技基礎・ボイストレーニング・バレエ基礎など総合的な表現力を養うカリキュラムを組んでおり、また舞台技術・演劇史なども幅広く学ぶことができます。

情熱にあふれた挑戦をお待ちしております。



吉祥寺アトレ東館南口から徒歩1分

前進座附属養成所

〒180-0003 武蔵野市吉祥寺南町2-4-3 劇団前進座ビル302

youseijo@zenshinza.com ☎ 0422-49-2588 <http://www.zenshinza.com>

～第一線で活躍する、充実の講師陣～

日本舞踊：藤間多寿彰

彰扇会主催。中国、インド、ロシア、オーストラリアなど各国にて古典舞踊、歌舞伎紹介を通じた文化交流を行う。陝西省舞踏家協会会員、内蒙古舞踏家協会榮譽会員、四川省芸術学校客員教授、現日本舞踊協会埼玉県副支部長。

三味線・長唄：杵屋佐之義

杵屋佐之忠師に長唄を師事し歌舞伎公演等に出演。端唄・小唄でも演奏会や放送を中心に活動中。日本伝統文化財団主宰「ビクター小唄まつり」にて市丸賞受賞。長唄佐門会所属。

鳴物：梅屋巴

梅屋福三郎師に師事。東京藝術大学卒業後、邦楽演奏会・日本舞踊公演、海外公演に出演。また(社)長唄協会普及育成委員として、学生や教員のための鑑賞教室・ワークショップに参加。さまざまな場所で日本の音を伝える活動を行っている。

義太夫：竹本綾之助

2005年豊竹嶋大夫門人となる。重要無形文化財総合認定保持者。2011年旭日双光章受賞。毎月の義太夫協会公演、学校巡演、都をどり等に出演。義太夫協会理事。

バレエ基礎：鈴木七重

西田堯師に師事。ダンスポルトレヴ主宰。1997年、2006年現代舞踊協会「ジュニア賞」受賞。1999年、2007年現代舞踊協会「明日の新人賞」受賞。

ボイストレーニング：池田直樹

バス・バリトン。東京二期会オペラ劇場公演、新国立劇場の公演に多数出演。モーツァルトの作品を中心に、ワーグナーの作品でも厚重な役柄を演じ、幅広い役柄で評価を得ている。二期会会員(幹事)、日本大学芸術学部教授。

演劇概論：中村義裕

演劇評論家。評論のジャンルは歌舞伎などの古典芸能からミュージカル・ストレートプレイ・小劇場と多岐にわたり、公演・対談・プロデュースなど幅広く演劇活動もこなしている。日本演劇学会会員。早稲田大学演劇学会会員。

演技基礎・立廻り・舞台技術 他

前進座の現役俳優・演出家・美術家が直接指導。藤川矢之輔・益城宏・河原崎國太郎・柳生啓介・嵐芳三郎・鈴木龍男・高木康夫・中橋耕史 他。

特別授業



映画監督：山田洋次



脚本家：ジェームス三木